

Mosenshi 広報もせうし

4

2026
vol.785

巣立ちのハーモニー 3/12 妹背牛中学校 卒業式

妹背牛町立
中学校

卒業証書授与式



目次

- | | |
|-----------------|---------------|
| 2-5P 町政執行方針 | 6-7P 教育行政執行方針 |
| 8-9P 令和8年度の予算 | 10-11P 新年度の事業 |
| 12P 企画紙面 | 13P フォトコーナー |
| 14-15P 情報ひろば | 16P 定期監査報告など |
| 17P information | 18P まちのアルバム |



町政執行方針（要旨）



妹背牛町長
滝本 昇司

はじめに

昨年 8 月、町民の皆様のご支援により町政を担うこととなり、就任から半年、議員や町民の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

昨年は米価上昇やふるさと納税の増加により一定の収入を確保できた一方、物価高騰による経常経費の増加が財政に影響を与えています。本年は第 9 次総合振興計画の 7 年目となる重要な年であり、改定した第 3 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とあわ

せ、「小さなまちから 広がる つながり 暮らしやすいまち もせうし」の実現に取り組みます。

令和 8 年度予算では物価高対策として 1 人 2 万円の商品券配付やペル温泉入浴優待券の継続を予定しています。

また、庁舎のエアコン整備やエレベーター改修、庁舎内避難所整備を進めるほか、延期した小中学校統合校舎の建設も令和 20 年度開校に向け準備を進めます。

これらの施策について、第 9 次総合振興計画に基づき説明いたします。

～地域産業を未来へつなぐまちづくり～

農業振興

良質・良食味米の安定生産

令和 8 年産主食用米の生産目安は、前年の政府備蓄米売却による追加設定の影響を受けまいよう調整されました。

北海道では、需給見通しや販売計画などを踏まえ、前年並みの水準で設定され、本町は昨年より 7.7 ㌫増の 2,105.9 ㌫となっています。

良質米の安定生産に向け、米穀乾燥調製貯蔵施設の品質検査機器更新を実施します。

また、肥料価格高騰への対策として土壌診断助成を継続し、適正施肥による品質向上とコスト低減を図ります。

農作業の省力・省人化の推進

農業従事者の高齢化や後継者不足により農家戸数が減少し、1 戸当たりの経営面積が拡大する中、労働力不足の解消が課題となっています。

町では妹背牛町 G N S S 研究会と連携し、省力・省人化に向けた技術研究を進めています。人工衛星画像と AI 解析を活用したりモートセンシングの研究・検証を行います。肥料コスト削減や収量向上につなげていきます。

あわせて水稻直播研究会の活動支援や圃場整備による大区画化を進め、生産性向上を図ります。

活力ある農村づくり及び担い手の育成・確保

農協青年部・女性部はイベント開催や各種事業への参画を通じ、まちづくりに貢献しており、今後も魅力ある農業と活力ある農村づくりに向け関係機関とともに支援します。

担い手確保では、北空知農業後継者対策育成支援協議会の研修や北海道拓殖短期大学の冬期集中講座への参加を促進するとともに、新規就農フェアへ継続参加し本町農業の PR を進めます。

また、新規就農経営安定助成により就農初期の経営を支援し、担い手確保を図ります。さらに農産加工センターでは事務室へのエアコン設置や老朽化した調理機械の更新を計画的に進めます。

有害鳥獣対策

エゾシカ、カラス、アライグマなどによる農作物被害防止のため、アライグマ用ハコ罠やモンスターウルフ、防獣テープの設置を行い、関係機関と連携し駆除体制を強化します。

近年目撃が増えるヒグマ対策として注意看板の設置や捕獲用ハコ罠、自動撮影カメラを導入し体制を整備します。

また猟銃免許取得・更新費用の助成を継続し、狩猟者の確保と育成を進めます。

移住定住の促進



人口減少や少子高齢化への対応として、持続可能なまちづくりに向け移住・定住の促進を進めます。

住宅取得や民間賃貸住宅入居への支援、引越し費用助成、高校生通学費支援などにより、移住や子育て世代の負担軽減を図ります。

また、住環境整備と情報発信を強化し、移住相談会などを通じて本町の魅力を発信します。

さらに、外国人地域おこし協力隊員による交流や学校での活動、外国人技能実習生への生活支援などを通じ、多文化共生のまちづくりを進め、「住み続けたいまち」「選ばれるまち」を目指します。



空き家対策



人口減少や高齢化に伴い、空き家の増加が課題となっておりことから、防災・防犯や景観への影響を踏まえ計画的な対策を進めます。

実態把握を行い、活用が困難な空き家は住宅撤去費助成事業を継続して除却を促進するとともに、固定資産税の納税通知書への案内同封などにより制度周知を図ります。

また、活用可能な空き家は地域資源として捉え、移住・定住促進につながる活用を進めます。



商工業の振興



商工業は地域経済や雇用、町民生活を支える重要な基盤ですが、人口減少や消費行動の変化、原材料費・エネルギー価格の高騰により厳しい状況が続いています。

本町では商工会など関係機関と連携し、事業者の経営基盤強化に向けた支援を継続します。

小売店舗等設備支援事業や起業支援事業、商店街機能維持事業などへの支援を行い、商工業の持続的発展を図ります。

また、地域おこし協力隊による店舗やキッチンカー営業など起業に向けた取り組みを進め、新たな事業者の創出と地域活性化につなげます。



観光の振興



観光振興では、情報発信の強化を基本に交流人口の拡大を図ります。遊水公園うらら、カーリングホール、妹背牛温泉ペルを核に、テレビやデジタル媒体を活用して町の魅力や飲食店などを分かりやすく発信し、再訪につながる観光施策を進めます。

ペルでは、利用者ニーズを踏まえた魅力向上を図り、地域おこし協力隊や職員による熱波師の活動など、サウナを生かした特色ある取り組みを展開します。また、町民向け温泉入館優待券の配付を継続します。

さらに、応援大使の山下彩耶さんや女子カーリングチーム「フォルティウス」と連携し、町の認知度向上やふるさと納税、移住施策と結び付けながら観光客や関係人口の増加を目指します。

～地域が支えるやさしいまちづくり～

国 国民健康保険事業について

国民健康保険は、国民皆保険制度の中核として地域医療と住民の健康を支えています。少子高齢化の進行や医療費増加、低所得者の加入割合の高さなどにより財政は厳しい状況です。

平成30年度の都道府県単位化により保険料の急激な変動は緩和されましたが、統一保険料に向けた賦課割合の見直しが課題となっています。

令和4年度の見直し方針に基づき、令和12年度に向け段階的に取り組みを進め、今後も安定的な制度運営に努めます。

介 護保険事業について

介護保険制度は、介護が必要になっても地域で安心して暮らせるよう社会全体で支える仕組みです。

高齢化の進行や高齢者世帯の増加、地域関係の希薄化など環境が変化する中、介護予防や生活支援、地域包括ケア体制の充実、認知症施策などを進めます。

また、本年度は高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の最終年であることから、制度改正を踏まえ次期計画を策定し、介護保険の安定運営に努めます。

社会
保障
の
充
実**高** 齢者福祉の充実

少子高齢化の進行により、ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯、認知症高齢者の増加が懸念されています。

本町では「わかち愛もせうしひろば」を活用した介護予防や生活支援を充実させるほか、「重層的支援体制整備事業」により複雑化する相談に対応できる包括的な支援体制の強化を進めます。

また、「北空知成年後見相談センター」と連携し、成年後見制度の相談支援を行います。さらに、外出支援や配食サービス、水道料助成、福祉灯油助成、温泉入館料助成、交通費助成の拡充など在宅福祉の充実を図ります。

子 育て支援の充実

少子化や核家族化が進む中、子育て世代を地域全体で支える体制整備を進めます。

昨年開設した「こども家庭センター」を中心に、妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

認定こども園では「こども誰でも通園制度」に向け体制を整えます。また、産後ケア事業の拡充など妊産婦支援を強化します。

さらに、交流施設「from ☆ moko」を拠点に地域での子育て支援を進めるとともに、不登校児童生徒への居場所づくり支援を継続します。

健 康づくり・地域医療の推進

「第2期健康増進計画」と「第3期国民健康保険データヘルス計画」に基づき、健康教室や広報を通じて生活習慣病予防と健康づくりを推進します。

がん対策では、各種検診に加え、中学生を対象としたピロリ菌検査を継続し、二次検査など事業拡大を図ります。

また、「自殺対策行動計画」に基づき、ゲートキーパー養成など、こころの健康支援を進めます。さらに、妹背牛診療所と連携し、地域医療の維持向上と安定した運営に努めます。

障 がい者福祉の充実・地域福祉の推進

福祉ニーズが多様化する中、社会福祉協議会やNPO、民生児童委員、町内会など関係機関と連携し、誰もが自分らしく暮らせる共生型のまちづくりを進めます。

令和5年度に策定した地域福祉計画や社会福祉協議会の地域福祉実践計画との整合を図り、地域福祉を推進します。

また「アグリーン妹背牛」「ジェミニ」「夢の杜」と連携し、障がいへの理解促進と福祉サービスの充実、社会参加の促進を図り、安心して暮らせる地域づくりに努めます。

～快適な生活が送れるまちづくり～

道路環境、交通環境の整備

町道の整備では、計画的な機能回復と適正な維持管理を進めます。本年度は舗装修繕計画に基づき、町道東1丁目線の舗装修繕を実施し、橋梁では長寿命化修繕計画により大西橋と佐々木橋の修繕を行います。

冬期間の除排雪対策では、社会資本整備総合交付金を活用し、除雪費の財源確保と機械の更新を進め、令和8年度は除雪車両1台を更新します。今後も生活道路の安全確保に努めます。

住環境の整備

町営住宅は公営住宅160戸、特定公共賃貸住宅12戸、地域優良賃貸住宅2戸、勤労者住宅4戸の計178戸を管理しています。

令和8年度は社会資本整備総合交付金を活用し、北斗団地B棟の長寿命化改修工事を実施します。今後も「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、予防保全を重視した維持管理を進め、住宅の長期利用と使用料の収納率向上に努めます。

上下水道の整備

簡易水道事業は、給水人口減少による料金収入の減少や人件費・資材費高騰など厳しい状況にありますが、経営の効率化を図りながら施設の適正な維持管理を行い、安全で安心な水の安定供給に努めます。

農業集落排水事業では、中長期的な更新計画に基づき、更新時期の検討を進めるとともに、処理施設や個別排水施設の適正管理により生活環境の向上と健全な事業運営を図ります。

循環型社会の創造

資源循環型社会の実現に向け、ごみの分別・資源化を推進しています。生ごみはバイオガス化施設で処理し、資源ごみはリサイクル、燃えるごみは広域連合で焼却し発電に活用しています。

今後も適正な分別・処理を進め生活環境の保全に努めます。また、イベント回収や不法投棄防止を進めるほか、ハチの巣駆除助成等を継続します。さらに、ゼロカーボンシティ宣言のもと、太陽光発電や蓄電池導入による再生可能エネルギーの活用を進めます。

～安全・安心で信頼できるまちづくり～

消防、防災・治水体制の充実

消防・救急体制

消防・救急行政では、近年頻発する自然災害や猛暑、高齢化に伴う救急要請の増加に対応するため、迅速で的確な体制強化を進めています。

119番通報の広域化により北空知1市4町での対応が可能となり、指令システムや位置情報通知システムに加え、車両動態管理システムの導入により対応力の向上を図ります。

また、防火啓発を進め無火災を目指すとともに、救急体制の充実により町民の生命と安全の確保に努めます。

防災・治水体制

近年、地震や大雨など自然災害の激甚化が進む中、本町でも災害に備えた体制強化が重要となっています。

これまで非常用発電機や防災資機材の備蓄、防災行政無線システムの整備などを進めてきました。

今後も防災訓練の実施や戸別受信機・スマートフォンアプリの普及により情報伝達体制を強化するとともに、「地域防災計画」やハザードマップの見直しを行い、防災体制の充実に努めます。

防犯、交通安全の充実

北海道では交通事故死者数が増加し、深川警察署管内でも死亡事故が発生していますが、本町では交通事故による負傷者がなく、交通事故死ゼロも継続しており、本年6月には「3,000日」達成が見込まれています。

今後も「飲酒運転根絶」や「ながら運転防止」の啓発を進め、警察や交通安全協会と連携し、町民総ぐるみの運動を推進します。

また、SNSを利用した投資詐欺やロマンス詐欺などの被害防止に向け、防犯関係機関や地域と連携し、安全で安心な地域づくりに努めます。



妹背牛町教育委員会 教育長

廣澤 勉

基本姿勢

現代は、少子高齢化やグローバル化に加え、AI技術の急速な進展など、将来の予測が極めて困難な時代を迎えています。

こうした背景の中、本町教育委員会では、子どもたちが「志」を持ち、困難や失敗に負けない「強い心」と、自ら学び行動する「自走する力」を育むことを最優先課題と掲げます。

「人生100年時代」を見据え、学校・家庭・地域がひとつのチームとなり、子どもから高齢者まで町民一人ひとりが自己実現を図れる「学びの循環」を構築し、教育環境のさらなる充実に邁進してまいります。

学校教育の充実 未来を拓く資質・能力の育成

子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育むため、一人ひとりの可能性を広げる授業改善に努めます。

「知識・技能」の確実な定着はもちろん、「思考力・判断力・表現力」および「主体的に学習に取り組む態度」を育成することを重視してまいります。

確かな学力の定着と向上

小学校においては、「セルフチャレンジ！〜自分でできる！をふやそう〜」を重点目標に掲げます。

学校生活や学びを自分事として捉え、自ら考え、判断し、行動し、振り返る力を持った子どもを育成を目指し、基礎的な知識・技能の習得と情報理解し活用する力を養います。

また、本年度、小学校は児童数減少に伴い、国で定める学級編成基準により第2、3学年が複式学級となり、道費負担の教諭が1名減り担任教諭1名体制となることから、子どもたちにとって不利益が生じることのないよう、町費負担による臨時教員を配置し、教育の質の確保に努めてまいります。

協力的な学びの実現

学びのユニバーサルデザインの視点を取り入れ、児童一人ひとりの特性に応じた学びを保障します。同時に、ペア学習やグループ学習を通じた「協働

豊かな心と社会性の育成

道徳教育を教育活動の要とし、生命の尊厳や他者を思いやる心の育成を図ります。

自己有用感を高める学級経営

一人ひとりが役割を持ち、「自分が必要とされている」と実感できる居場所づくりを進めます。

多様性への理解を深め、自分と他者の双方を大切に「尊厳の精神」を養います。

「いじめの未然防止と組織的対応」という共通認識のもと、定期的なアンケートや教育相談を継続します。

予兆を早期に察知し、教職員がチームとして速やかに着手・解決する体制を堅持します。

地域や社会とつながりを学ぶ

地域の教育資源や外部講師を積極的に活用し、社会の仕組みを学ぶ機会を提供します。

健やかな身体の育成と

生活習慣の確立

心身の調和がとれた子どもを育成を目指し、望ましい生活習慣の確立を図ります。

・体力向上策の展開

「新体力テスト」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析に基づき、小学校での「1校1実践〇分間走」や中学校での「個別事前記録設定」など、意図的な体力向上策を講じます。

・生活リズムの改善

家庭との共通認識のもと、「生活リズムチェックシート」の活用やSNS利用過多の防止など、自立的な生活習慣の確立を支援します。

特別支援教育と

通級指導の充実

社会的な自立を目指す「生きる力」を養うため、個別の教育的ニーズに応じた「個別指導計画」の策定とPDCAサイクルを強化します。

・切れ目のない支援

特別支援委員会を中心とした校内支援体制を核に、関係機関と連携した組織的な対応を推進します。

・通級指導の体制強化

増加傾向にある困り感を抱える児童生徒に対し、学校全体で柔軟かつ組織的な指導体制を構築します。

社会教育の推進

地域と歩む豊かな学び

町民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、地域の教育力を高める基盤を整備します。

社会教育事業の積極的展開

・家庭教育・青少年育成

「赤ちゃんふれ愛ブック」や「ブックスタート」などの乳幼児期からの読書支援、および「ぼくたちわたしたち体験隊」や「チャレンジワールド」などの非日常的な体験活動を通じ、忍耐力や協調性を養います。

・国際交流・多文化理解

「国際文化ふれあい事業」を通じ、異文化に触れることで国際交流を促進します。

・全世代への学びの提供

「芸術文化事業」の実施をはじめ、高齢者の技術を活かす事業や、エンディングノートを作成する「終活」に関することなど、関心はあっても学ぶ機会の少ないテーマで、町民ニーズに合致した新規事業の立案を目指します。

社会体育の振興

「のびのびスイミングスクール」や「足腰鍛え隊」「町民登山」の実施により、体力向上や健康増進を図る場を提供します。

「親子カーリング教室」では、応援大使「フォルティウス」の指導を通じて競技の魅力を発信します。

また、現役世代の参加率向上を目指し、ニーズに合ったスポーツ機会を模索します。

コミュニティ・スクール(CS)の深化

学校・家庭・地域が一体となる「コミュニティ・スクール」の充実を図ります。

・地域教育力の活用

学校運営協議会において地域の声を積極的に活かし、支援可能な人材の発掘や地域的人的・物的資源を活用した「社会に開かれた教育課程」を推進します。

・情報発信の強化

ホームページやSNS、学校だよりを活用し、成果と課題を積極的に発信することで、地域全体の理解と協力を得られる体制を構築します。

・公設塾の運営

子どもたちへの早期の基礎学力向上と学習習慣の定着を目指し、町と民間塾が連携した公設塾を運営します。

・個別最適な学習支援

放課後の時間を活用し、動画配信を中心とした学習支援を継続します。

小学校4年生から6年生を対象にスタートしましたが、今後は対象を中学生や不登校児童生徒への支援へと発展させることを視野に入れながら、基礎的な学力をしっかりと定着させたい子から、もっと深く学びたい子まで、それぞれの意欲に応える場として個別最適な学習環境を提供します。

本町の教育行政課題

▽小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した教育の質の向上を図るため、教育目標や教育課程の一体的な編成を通して、小中一貫教育を推進します。

また、小中一貫教育の円滑な推進を図るため、学校との調整役などを担う「小中一貫教育推進員」を新たに配置し、小中連携の実効性を高めます。

▽中学校部活動の地域展開

北空知圏域での協働により、子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術に親しめる環境を構築します。

地域住民や保護者の理解を得ながら、圏域全体での持続可能な仕組みを協議します。

▽教職員の働き方改革と

「チーム学校」の推進

教員が心身ともに健康で、授業準備や児童生徒と向き合う時間を確保できるよう改革を推進します。

・業務の効率化

ICTを活用した会議の精選、教材の共有化、校内業務の標準化を図り、月の超過勤務45時間以内の遵守を目指します。

・専門性の発揮

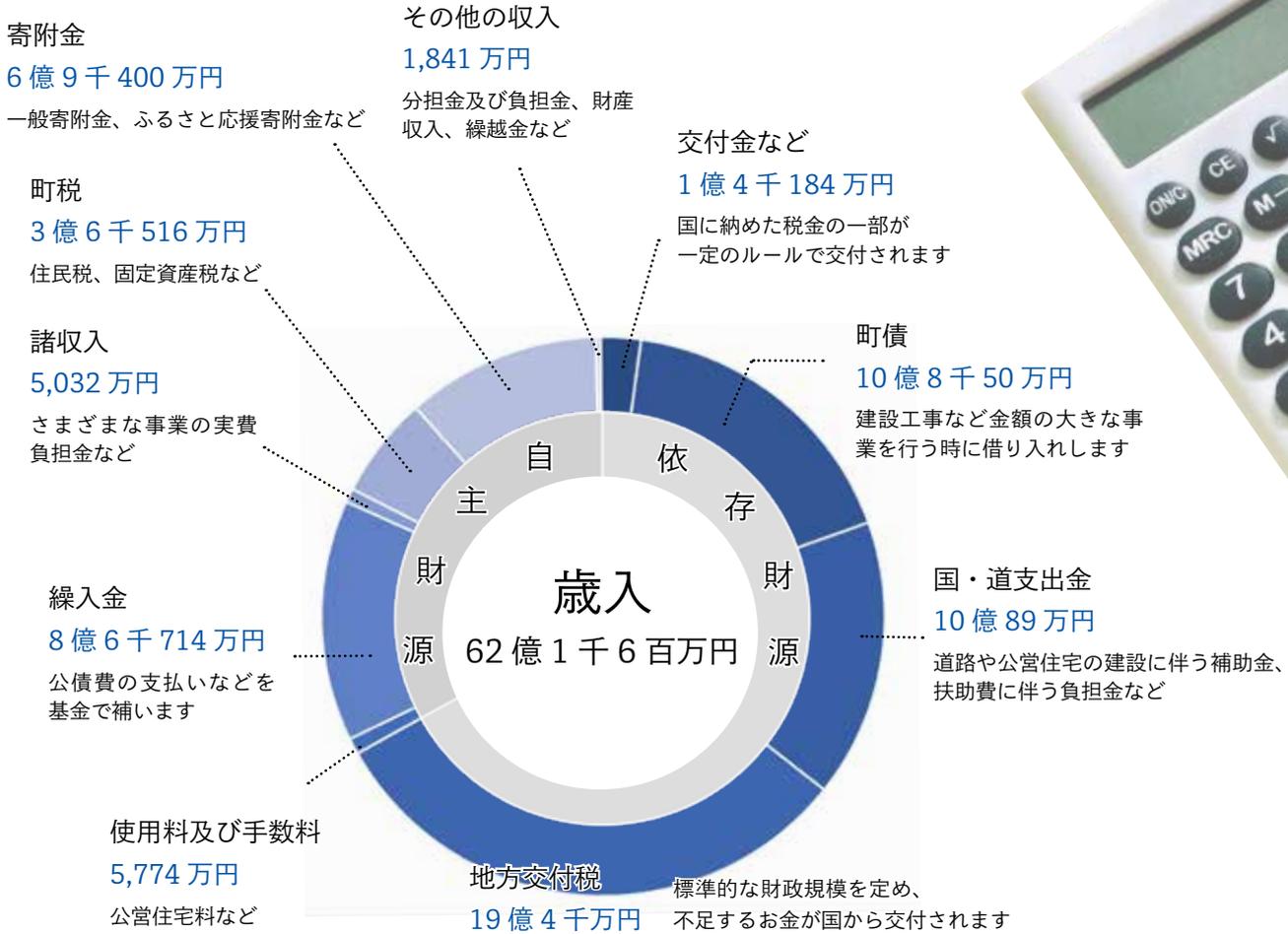
教員が「何のために」という目的を明確にして業務にあたり、専門性を活かせる職場環境を整えます。

歳入

一般会計
62億1千6百万円

令和8年度

妹背牛町の予算



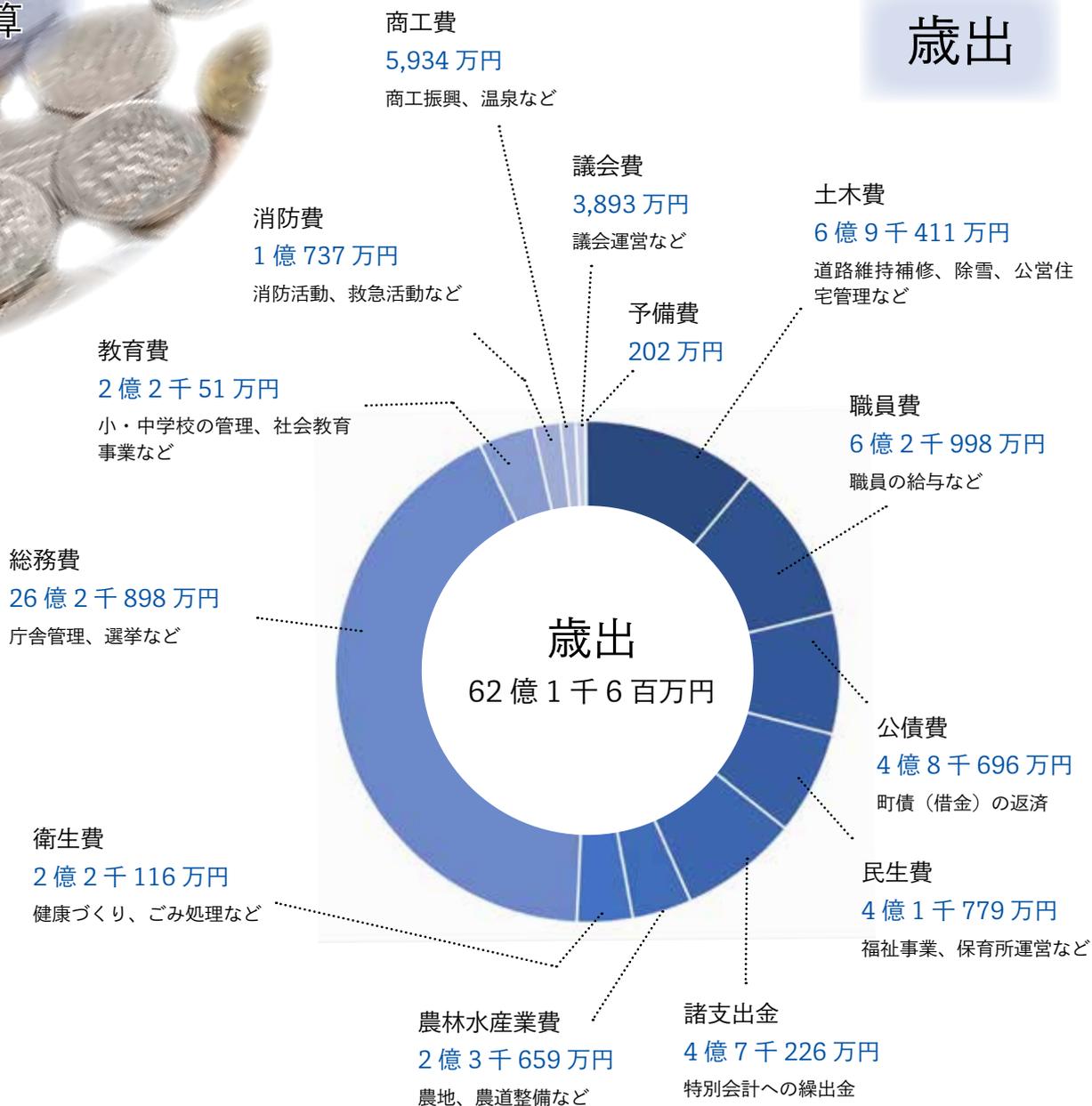
各会計予算額 (単位 千円・%)		
会計別	本年度予算	前年度との比率
一般会計	6,216,000	26.0
特別会計	国民健康保険	471,500 △ 0.9
	後期高齢者医療	86,099 23.3
	介護保険 (保険事業勘定)	440,435 4.0
	介護保険 (サービス事業勘定)	477,863 3.9
	小計	1,475,897 3.3
企業会計	簡易水道事業	234,699 △ 22.7
	農業集落排水事業	340,768 △ 12.9
	小計	575,467 △ 17.2
合計	8,267,364	17.1

予算総額
82億6千7百36万4千円

令和8年度 妹背牛町の予算



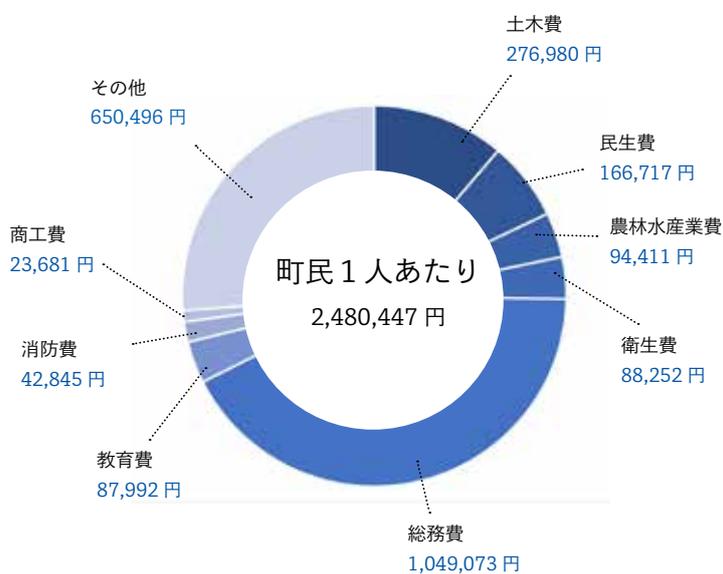
歳出



町民1人あたりに



換算すると？



予算のPoint

予算総額 17.1%増
令和8年度予算の総額は、前年度比17.1%増の82億6千万円で、役場庁舎等改修事業や福祉施設群MG整備事業などの大規模事業が主な要因です。

町税は22.4%の増額
歳入の町税は、農業所得などの見込み増により前年度比6,674万9千円（22.4%）の増額となっております。

ふるさと納税は約7億円
ふるさと納税は、ふるさと妹背町にふるさと納税を6億9千万円、企業版ふるさと納税を4,000万円とし、それぞれ前年と同額を計上しております。

概ね財政健全化
町全体での地方債残高は、ピーク時の86億円から減少傾向にあり、令和6年度末では56億8千万円まで減少。財政健全化は概ね保たれております。

総務費

・定住促進賃貸住宅建設事業助成金 5,360万円

住環境の向上を図るため、2棟8戸（2LDK）の建設費の一部を建設事業者に助成します。

・福祉施設群MG（マイクログリッド）工事（工事監理含） 4億5,191万3千円

脱炭素の実現に向け、診療所や老人保健施設りぶれ、デイサービスセンター、浄化センターに太陽光発電を活用したマイクログリッドを構築し、災害時のレジリエンス（適応力）向上とエネルギー消費の効率化を図ります。

・商品券配布事業 5,164万8千円

国の地方創生臨時交付金を活用し、地域経済の活性化を目的として、町民一人当たり20,000円分の商品券を配布。町内消費の喚起と個人消費の下支えを図ります。

・町PRグッズ制作、案内看板改修工事 197万4千円

令和7年12月の子ども議会で小学6年生から提案のあった「町のPRグッズ制作」を実施するため、小学生が提案したPRグッズを制作し、町内での販売を予定しています。また、令和6年9月の子ども議会で提案のあった「案内看板」の改修工事費も計上しています。

役場庁舎等改修工事（工事監理含）	5億6,467万4千円	小藤コミュニティーセンターフェンス撤去工事	313万5千円
総合行政・戸籍附表システム標準化対応	7,096万9千円	地域おこし協力隊活動費	3,851万2千円
ふるさと妹背牛応援寄附返礼費用	3億6,551万6千円	町・温泉PR広告料	724万9千円
公共施設群MG概略設計委託	1,100万円	カーリングホール冷却塔改修工事	1,243万円
定住促進支援事業（住宅新築支援事業外12事業）	3,361万4千円	温泉優待券配布事業	668万5千円

民生費

・高齢者等交通費助成金 150万円

自家用車を所有していない高齢者等の交通費助成事業として、1人当たりの上限額を1万5千円から2万円に拡充するとともに、タクシー料金に合わせて、1乗車あたりの利用可能枚数を従来の100円券最大9枚から15枚へ増やし、利便性の向上を図っています。

わかち愛もせうしひろば運営	165万1千円	重層的支援体制整備事業委託	1,502万円
社会福祉協議会交付金	1,007万9千円	児童手当	2,684万円
水道料金等助成金（子育て世帯・高齢者世帯）	415万6千円	子ども家庭支援事業	637万6千円
除雪・配食・外出・短期宿泊事業	663万3千円	福祉灯油助成金	289万円
高齢者温泉入館料助成金	212万4千円		

衛生費

各種検診事業（予防接種含）	2,081万7千円	ようこそ赤ちゃん助成金	252万5千円
各医療費助成金	1,785万円		

農林水産業費

- ・米穀乾燥調製貯蔵施設機能増強工事 3,410万円

米の品質管理の高度化と検査体制の向上を図るため、タンパク計や自主検査装置の更新を含む米穀乾燥調製貯蔵施設の機能増強工事を実施します。

- ・有害鳥獣駆除対策経費 160万7千円

既存の有害鳥獣対策に、新規でクマ捕獲用罠の設置費用など有害鳥獣対策経費を計上し、農作物等の被害軽減を図ります。

農産物直売所エアコン設置工事	204万6千円	低コスト生産対策事業助成金	150万円
新規就農者支援事業	184万5千円	有害鳥獣捕獲等助成金	20万円
多面的機能支払対策事業（農村環境保全活動）	1億2,907万6千円	道営負担金事業	752万5千円

商工費・土木費

- ・除雪グレーダ購入 5,365万2千円

除雪体制強化のため、除雪グレーダを購入します。

商工会助成金	2,980万9千円	温泉運営助成金	1,082万円
町道道路側溝整備工事（南6条線）	4,592万5千円	町道改良工事（東1丁目線他2路線）	1億1,402万6千円
橋梁長寿命化修繕実施設計委託（山本橋・藤倉橋）	4,771万8千円	橋梁長寿命化修繕工事（大西橋・佐々木橋）	4,994万円
排水機場管理・操作委託	1,424万7千円	農業集水路修繕工事（3丁目集水路）	1,276万円
水利施設等保全高度化事業（芽生排水機場）	4,437万4千円	河川浚渫工事（8丁目集水路）	1,317万8千円
長寿命化改修工事（北斗団地B棟）	5,799万2千円	公営住宅解体工事（妹背牛団地）	1,210万円

消防費・教育費

- ・学校支援事業（公設塾） 186万円

小学4～6年生に加え、令和8年度からは中学生も対象とした映像授業による公設塾を実施し、児童生徒の学力向上と学習習慣の定着を図ります。

災害備蓄品	63万5千円	中学校制服等購入費助成金	14万円
学習用端末更新（小学校・中学校分）	834万4千円	学校給食費負担金	1,369万4千円
学校教育施設整備基金積立金	2,000万円	小中一貫教育推進員・複式学級解消教員費	647万3千円

第50回 空知管内技能尊重推進大会（妹背牛大会）

空知管内で活躍する技能者の社会的・経済的地位の向上を図る「第50回空知管内技能尊重推進大会（妹背牛大会）」が3月13日、妹背牛町民会館で開催されました。関係者や来賓など80人が参加し、地域の産業やものづくりを支える技能者の功績を称えました。

最後に、同大会の実行委員長で妹背牛町技能協会会長の真鍋剛氏が「ものづくりの魅力発信や優秀な後継者の育成に力を注ぎ、地域発展に寄与します」と大会宣言をし、式典を締めくくりました。



大会宣言をする真鍋氏



記念講演をする芳形氏

地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

ベトナム人地域おこし協力隊のズオン・ティ・フォンさんとグエン・カン・リンさんを講師に迎えた体験講座「ベトナム文化にふれてみよう」が2月21日、町保健センターで開催され、町内の親子がベトナムのお菓子づくりを楽しみました。

調理したのは、ベトナムで親しまれているお菓子「揚げバナナ」。漬けたバナナに米粉ベースの衣を付けて揚げたスナック菓子で、外はカリッと、中はとろりとした食感とバナナ本来の自然な甘さが特徴です。ベトナムでは、祭りの屋台などでよく見かける人気の食べ物といえます。



ズオン・ティ・フォンさん

エプロン姿の子どもたちは、バナナを切ったり、衣を付けたりと調理を楽しみながら、出来上がった揚げバナナをおいしそうに味わっていました。

中には、チョコレートソースをかけて日本風にアレンジする子もおり、会場は和やかな雰囲気になりました。

この日は、ベトナム人技能実習生の4人も親子のお手伝いとして参加。作り方を教えたフオンさんは「子どもたちがかわいかったし、『もう一回やりたい』と言ってくれてうれしい。手伝ってくれた技能実習生のみんなんにも感謝したいです」と話しました。

また、リンさんは「日本とベトナムの屋台の違いなどについて、お話できたことが楽しかったです」と、声を弾ませました。

参加者たちは、お菓子づくりを通してベトナムの文化に触れ、楽しい交流のひとつを過ごしました。



グエン・カン・リンさん

日ハム妹背牛後援会 第8回通常総会



チームへの熱のこもった応援を誓い合った通常総会

北海道日本ハムファイターズ妹背牛後援会は2月7日、わかち愛もせうしひろばで第8回通常総会を開きました。会員91人が出席。応援バスツアーや町内観戦会などを盛った令和8年の事業計画案を採択し、日ハムの躍進に向けて応援することを誓い合いました。

冒頭、高橋久夫会長が「今季も熱い応援を続けて、日本一の景色を見せたいと思います」とあいさつ。続いて、令和7年の事業・収支決算・監査の3報告を承認しました。

妹背牛の魅力発信テーマに意見交換



町民と議員がまちづくりについて意見を交わした議員カフェ

妹背牛町議会は2月28日、町民との意見交換の場「議員カフェ」を町民会館で開催し、町民30人が妹背牛の魅力発信やまちづくりへのアイデアを出し合いました。

議会改革の一環で、昨年8月に続き2回目。第1部では「妹背牛町の魅力発信について」をテーマに意見交換が行われ、観光施設のPR方法や自然と調和した環境を発信する取り組みなどが提案されました。町議会では今後も、町民の声をまちづくりや町政運営に生かしていく考えです。

ホクレンが100万円を寄附 企業版ふるさと納税

寄附額・月	1,000,000円 令和8年2月
企業名 代表者氏名 本社所在地	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事会長 篠原 末治 札幌市中央区北4条西1丁目3番地
活用事業	「まち・ひと・しごと創生推進事業」 ・結婚・出産・子育ての希望をかなえる 事業に活用
企業様の コメント ・ QRコード	北海道の発展には地域の活性化が不可欠なため、地方創生に繋がる取り組みを応援しています。 ホクレンは、全国の消費者に北海道農畜産物を供給する「販売事業」と、生産者の営農活動を支える「営農支援」を行っており、「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」の実現を目指します。 

企業 HP



滝本町長から感謝状を受け取る熊谷支所長

妹背牛町は3月12日、企業版ふるさと納税を活用して町に100万円を寄附したホクレン農業協同組合連合会に対し、感謝状を贈りました。

この日は、ホクレン岩見沢支所の熊谷和也支所長が来庁し、「農業の生産現場の活気につながれば」と述べました。

企業版ふるさと納税の制度を活用し、妹背牛町に500,000円以上の寄附をしていただいた企業様におかれましては、随時、広報「もせうし」の紙面で紹介させていただきます。

令和7年深川地区消防組合 火災概況

深川消防署妹背牛支署 TEL0164-32-2026

令和7年の深川地区消防組合管内の火災発生件数は11件（妹背牛町1件）で、令和6年に比べて1件減少（妹背牛町増減無し）となっています。

火災発生件数の11件は、過去20年間の組合管内平均件数17件を下回りました。出火率（人口1万人に対する出火件数の割合）をみると深川地区消防組合平均4.07件で、令和6年の全国平均2.97件と全道平均3.29件を上回っています。

火災種別を見ると、建物火災8件、車両火災3件となっています。

主な出火原因は、「配線器具」が3件、「電気機器」が2

件となっています。

令和6年の全国の火災原因は「たばこ」「たき火」「こんろ」「電気機器」「放火」の順となっています。

火災はちょっとした気のゆるみや不注意から発生することが多く、『いつもは気をつけていたのに』や『ほんの少し目を離しただけだったのに』等といった事例が多いです。火災により大切な生命及び財産を失う前に住宅用火災警報器の設置・点検を行いましょう。

また、住宅用火災警報器の設置がまだ済んでいない方は、すでに設置義務化となっていますので早期に設置して頂くようお願いいたします。

ハラスメント・労働相談コールのご案内

職場でのハラスメントや賃金未払い、有給休暇に関するトラブルなど、労働問題で悩んでいませんか。北海道では、専門の相談員（社会保険労務士）が対応する「ハラスメント・労働相談コール」を開設しています。

カスタマーハラスメントやパワーハラスメント、賃金や残業代の未払い、有給休暇の取得に関する悩みなど、労働

に関する困りごとについて相談できます。

一人で悩まず、まずはご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守されます。

受付時間：平日（月～金）17時～20時、土曜13時～16時（祝日、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始を除く）。

フリーダイヤル：0120-81-6105

防災気象情報が新しくなります！

避難情報に関するガイドラインでは、5段階の警戒レベルで住民がとるべき行動が設定されています。対象の災害となる河川氾濫、大雨、土砂災害及び高潮に関する情報等は、これまで警戒レベルと住民がとるべき行動がわかりにくくなっていましたが、今回、5段階すべての警戒レベルに対応した情報を改めて設定し、とるべき行動の判断をより一層支援できる情報体系に改善します。

この新たな防災気象情報は、令和8年5月下旬から運用を開始する予定です。

気象庁ホームページの特設ページでは、新たな防災気象情報に関する様々な資料を掲載していますので、情報が発表された際にどのような行動をとるのか事前に確認をしておきましょう。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの)住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める



【新たな防災気象情報に関する特設ページ（気象庁HP）】

国民年金よりお知らせ

■国民年金保険料の納付について

令和8年4月から令和9年3月分までの国民年金保険料は、月額17,920円です。

保険料は、日本年金機構から送付される納付書により、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納めることができます。また、クレジットカードや電子納付(Pay-easy)を利用した納付、便利でお得な口座振替もあります。

毎月の保険料の納付期限は、「翌月の末日」です。保険料の納め忘れがあると、万が一障害や死亡といった不慮の事態の発生により、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合がありますので、必ず納付期限までに納めてください。

また、経済的な理由等で保険料を納付することが困難な場合は、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、住民課住民グループで手続きをしてください。

令和8年度 ①～③の納付額・割引額



【お問合せ先】

役場住民課住民グループ TEL 0164-32-2031 (直通)

■国民年金保険料の前納について

口座振替・クレジットカード又は、現金納付で早割や前納で納めると保険料が割引されます。振替方法は、次の4種類から選んでお申込みいただくことができます。

- ① 2年前納 (4月～翌々年3月分)
- ② 1年前納 (4月～翌年3月分)
- ③ 6カ月前納 (4月～9月分、10月～翌年3月分)
- ④ 当月末振替(早割) ※本来の納付期限よりも1

カ月早く口座より振替する方法です。申出書を提出した翌月から対象。

手続きは、住民課住民グループ又は金融機関等に申出書を提出して下さい。

申込期限は、①②③(4～9月分)の口座振替は2月末日、現金納付は4月末日、③(10月～翌年3月分)の口座振替は8月末日、現金納付は10月末日です。

割引額

	① 2年前納	② 1年前納	③ 6カ月前納	④ 当月末振替
クレジットカード 現金納付	16,010円	3,820円	870円	—
口座振替	17,370円	4,510円	1,220円	60円

春季における交通事故防止

妹背牛駐在所 TEL0164-32-2052

1 歩行者を意識した運転

毎年のことですが新入学児童の初めての登校の時期です。子どもは突然走り出したり、体が小さく見落としやすいので周囲をよく確認して運転しましょう。

また歩行者は、基本的には横断歩道を利用し、乱横断はしないようにしましょう。

2 スピードダウン

残雪があるとは言え、路面や視界が良くなり格段に走りやすくなると速度を上げてしまいがちです。

不意な凍結路面で滑ったり、そもそも速度が上がればあらゆるリスクも上がりますので、意識してスピードダウンを心がけましょう。

3 夏タイヤへの交換は慎重に

4月は年によっては大雪が降ったり、路上の雪解けが完全には進まないこともあるので早すぎるタイヤ交換の判断は慎重な検討が必要です。

またタイヤ交換時にケガをしたり、雑な作業で走行中にタイヤが外れたりしないよう、適正な交換作業をしましょう。

令和7年度定期監査報告

監査委員

代表監査委員 菅原 竹雄 監査委員 小林 一晃

監査対象

令和7年度（令和7年12月末現在）執行の町長部局のうち上下水道グループ、福祉グループ、地域包括支援グループ、総務グループ及び農業委員会に関する事務。

監査方法

令和7年度における事務の執行が、関係法令、条例、規則等に基づき、公正不偏で計画的かつ効率的に行われているかについて、定期監査資料等の提出を求め、必要に応じて関係職員から説明を受けながら監査を実施した。

監査期間

令和8年2月9日から2月16日までの5日間

監査結果

監査の結果、事務事業の執行については、おおむね適正に処理されていると認められた。

しかし、一部の事務については、改善・検討の必要性が見受けられ、主なものとして、

①農業集落排水処理施設等の

機能維持強化の計画的な改修

②生活支援ハウスについて

③将来の職員体制を見据えた計画的な職員採用

など数点について指摘した。

【お問い合わせ先】

役場議会事務局 TEL0164-34-8586

妹背牛町奨学資金（貸付）をご利用ください

対象者

- ・高等学校以上の学校に入学または在学中の学生・生徒
- ・学資の支弁が困難な家庭環境にあること
- ・健康で学業優秀であること

貸付額（月額、全て無利子）		
大学生（大学院を含む）	30,000円～50,000円	
専門及び専修学校生徒	高等課程	専門課程
	15,000円～30,000円	30,000円～50,000円
高等学校生徒	15,000円～30,000円	

妹背牛町教育委員会学校教育グループ
TEL0164-32-2525

償還方法

卒業から10年以内（3.5.7.10年償還）

貸付決定

町奨学資金運営委員会にはかり教育委員会が決定

提出期限

令和8年4月10日（金）までに

教育委員会学校教育グループへお申し込みください。

※継続される方も毎年度申請が必要です。

※申請書は町HPでもダウンロードできます。

令和8年度の保険料率改定について

【協会けんぽ北海道支部からのお知らせ】

令和8年3月分（4月納付分）から健康保険料率は10.28%（マイナス0.03%ポイント）、介護保険料率は1.62%（プラス0.03%ポイント）となります。

また、令和8年4月分（5月納付分）より始まる子ども・子育て支援金率は0.23%となります。

各都道府県の健康保険料率は、地域の医療費等に基づいて算出されます。医療費上昇を抑えるため、右記取組へのご協力をお願いいたします。

《皆さまにお願いしたいこと》

- ・協会けんぽの生活習慣病予防健診・特定保健指導（健康サポート）を受けていただくこと
- ・特定保健指導（健康サポート）を受けた方は、プログラムに最後まで取り組むとともに、必要に応じて医療機関を受診していただくこと
- ・ジェネリック医薬品の使用促進をはじめとする上手な医療のかけり方を実践いただくこと
- ・企業を挙げて健康づくりに取り組んでいただくこと（健康事業所宣言）

【お問い合わせ先】全国健康保険協会（協会けんぽ）北海道支部 TEL011-726-0352（代表）

イベント情報

4 / 15 ▶▶ 5 / 14

イベント内容	日程（祝日除）	時間	場所
ふまねっと運動講座	毎週水曜日	13:30～	わかち愛 もせうしひろば
ほっと茶屋	毎週金曜日	10:00～	
まちかどサロン	4月23日（木）	10:00～	
サーキット トレーニング	毎週木曜日	13:30～	保健センター

妹背牛診療所

TEL 32-2475

休診日

第1・3・5土曜日

日・祝日

午後休診

第2・4水曜日と土曜日

4/15 午後、4/24、5/1 リハビリ休み

4/25 臨時休診

広報紙のデジタル版（カラー）
はこちら



妹背牛町 HP



Facebook



Instagram

4月	当番医院	住所・連絡先
5日（日）	深川市立病院	深川市6条6番1号 TEL22-1101
12日（日）	深川市立病院 担当医院 みきた整形外科クリニック	深川市6条6番1号 TEL22-1101
19日（日）	深川市立病院 担当医院 北竜町立診療所	深川市6条6番1号 TEL22-1101
26日（日）	深川市立病院	深川市6条6番1号 TEL22-1101
29日（水）	北海道中央病院	深川市西町1番7号 TEL22-2135

— 妹背牛町社会福祉協議会に寄付 —

- ・岡部 博 様（3区）
- ・西村 悟志 様（10区）
- 故母 岡部 米子 氏 1周忌に際して
- 故母 西村 てい子 氏 死去に際して

— 妹背牛町役場に寄付 —

- ・手打ちそば倶楽部もせうし
- 収穫感謝祭新そば新米食べよう会等の収益金として

まちのデータ

3月1日現在
（ ）内は前月比

人口	2,510人	(+4)
男性	1,183人	(+3)
女性	1,327人	(+1)
世帯	1,336世帯	(+4)

まちのアルバム



3/19 妹背牛小学校で卒業式が
開かれ、卒業生14人が
学びやを巣立ちました。

校長先生から卒業証書を受け取った6年生は在校生にお別れの言葉を述べ、新たな一歩を踏み出しました。



3/5 深川消防署妹背牛支署に
多目的積載車が納入され
ました。

農道や河川の近くまで人力で運べる小型ポンプが搭載され、同日に消防団員による訓練も行われました。



3/3 認定こども園妹背牛保
育所でひな祭り会があり
ました。

園児たちは、おだいら様やおひな様の衣装に着替えて、記念撮影を楽しみました。



2/19 妹背牛小学校で1, 2
年生を対象にした人権教室
が開かれました。

妹背牛と深川の人権擁護委員が紙芝居を通じて、思いやりの心を持つことの大切さを伝えました。



3/14 昔懐かしいレコードの
音楽とおしゃべりを楽し
む催しがありました。

会場のわかち愛もせうしひろばでは、社会福祉協議会の職員がスマホの使い方を教える場面もありました。

